

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月12日

上場会社名 東和ハイシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4172 URL <https://www.towa-hi-sys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石井 滋久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 総務・経理部部长 (氏名) 猪子 久美子 (TEL) 086-243-3003
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績 (2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	1,157	—	331	—	298	—	202	—
2020年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2021年9月期第2四半期	96.54	—	—	—				
2020年9月期第2四半期	—	—	—	—				

(注) 2020年9月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の数値及び2021年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,876	3,328	85.9
2020年9月期	3,084	2,645	85.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 3,328百万円 2020年9月期 2,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2020年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	2,294	20.1	547	42.4	515	29.4	330	34.6	152.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期2Q	2,228,000株	2020年9月期	1,968,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	一株	2020年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期2Q	2,097,450株	2020年9月期2Q	1,968,000株

当社は、2020年7月31日付で普通株式1株につき24株の割合で株式分割を行っておりますが、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化しました。2020年4月に発出された緊急事態宣言解除後は国内の経済活動の一部に回復の兆しがありましたが、ウイルスの変異とともに感染の再拡大が生じたことにより、1月中旬より11都府県にて緊急事態宣言が発出され、依然として不透明な状況が続いております。

歯科医療業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はより大きく、歯科医療分野のオンライン化というIT機器の活用が広まりつつあり、いわゆる「ウィズ新型コロナウイルス感染症」の時代に合わせた運営方法が確立しつつあります。また、厚生労働省が推進する「オンライン資格確認等システム」事業の本格導入も始まり、2021年9月に「デジタル庁」が創設されることから、政策としてもデジタル化が推進されております。

そのような中、当社は事業理念に沿った対面型の営業サポートを継続しつつ、「オンライン資格確認等システム」の本格導入、クラウド予約システムを中心とした「ClinicSmileコネクト」の販促活動に取り組んでまいりました。

これら一連の活動を、主力商品である電子カルテ統合システム「Hi Dental Spirit XR-10i」販売へと繋げてまいりました結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,157百万円、営業利益は331百万円、経常利益は298百万円、四半期純利益は202百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,876百万円となり、前事業年度末と比較して791百万円増加いたしました。

a. 流動資産

流動資産は2,757百万円となり、前事業年度末より558百万円増加いたしました。主な内訳は、公募増資を主要因とする現金及び預金の増加391百万円と、売掛金の増加106百万円であります。

b. 固定資産

固定資産は1,118百万円となり、前事業年度末より233百万円増加いたしました。主な内訳は、有価証券の購入に伴う投資有価証券の増加200百万円等であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は547百万円となり、前事業年度末と比較して108百万円増加いたしました。

a. 流動負債

流動負債は504百万円となり、前事業年度末より105百万円増加いたしました。主な内訳は、仕入増加に伴う買掛金の増加82百万円等であります。

b. 固定負債

固定負債は42百万円となり、前事業年度末に比べて大きな増減はありませんでした。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は3,328百万円となり、前事業年度末と比較して683百万円増加いたしました。これは、公募増資及び第三者割当増資に伴い資本金及び資本準備金がそれぞれ275百万円増加したこと、前事業年度に係る配当金の支払いが68百万円生じた一方、四半期純利益を202百万円計上したことにより利益剰余金が134百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,123百万円となり、前事業年度末より391百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は192百万円となりました。これは主として法人税等の納付による91百万円の支出及び売上債権の増加106百万円等があったものの、税引前四半期純利益の獲得による298百万円の収入、減価償却費14百万円の計上、仕入債務の増加82百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支払った資金は245百万円となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出201百万円、無形固定資産の取得による支出39百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は444百万円となりました。配当金68百万円の支出及び株式公開費用27百万円支出があったものの、普通株式の発行による540百万円の収入があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月25日に「東京証券取引所 J A S D A Q への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました2021年3月期の業績予想につきまして上方修正いたしました。新規上場に伴う知名度の向上等により主力商品である電子カルテ統合システム「Hi Dental Spirit XR-10i」の売上や厚生労働省が推進するオンライン資格確認の売上が好調だったことによります。

当社が展開する事業領域において今回のコロナウイルス感染症拡大による重大な影響は観測されていないものの日本国内においてはまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出されている状況下におきまして、より一層先行きの不透明化が増大しております。また2021年3月26日に厚生労働省より発表されましたオンライン資格確認システムの本格運用の開始が10月まで延期になったことによる今後の影響についても不透明となっています。以上2点の要素はあるものの下半期の当初予想を据え置き通期業績予想につきましても上方修正しております。

上方修正の詳細につきましては2021年4月28日に公表いたしました「2021年9月期第2四半期累計期間の業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,041,666	2,433,156
売掛金	69,830	176,745
商品	58,018	108,928
前払費用	24,262	37,403
未収入金	4,077	1,623
その他	1,974	36
流動資産合計	2,199,831	2,757,893
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	369,868	360,981
構築物（純額）	2,447	2,329
車両運搬具（純額）	5,515	4,306
工具、器具及び備品（純額）	20,149	21,515
土地	349,929	349,929
有形固定資産合計	747,910	739,063
無形固定資産		
ソフトウェア	4,548	41,213
ソフトウェア仮勘定	12,931	13,956
その他	2,333	2,280
無形固定資産合計	19,813	57,450
投資その他の資産		
投資有価証券	49,580	250,350
敷金及び保証金	31,721	31,968
繰延税金資産	33,764	37,335
その他	1,980	2,175
投資その他の資産合計	117,047	321,829
固定資産合計	884,771	1,118,342
資産合計	3,084,602	3,876,236

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,584	147,004
未払金	171,784	196,882
未払法人税等	91,142	108,061
未払消費税等	40,231	24,877
預り金	5,478	349
賞与引当金	9,634	9,130
その他	15,690	18,140
流動負債合計	398,545	504,445
固定負債		
退職給付引当金	40,154	42,862
固定負債合計	40,154	42,862
負債合計	438,699	547,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	68,000	343,080
資本剰余金	22,400	297,480
利益剰余金	2,555,794	2,689,398
株主資本合計	2,646,194	3,329,958
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△292	△1,030
評価・換算差額等合計	△292	△1,030
純資産合計	2,645,902	3,328,927
負債純資産合計	3,084,602	3,876,236

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	1,157,562
売上原価	270,852
売上総利益	886,710
販売費及び一般管理費	554,746
営業利益	331,963
営業外収益	
受取利息	148
有価証券利息	1,580
受取手数料	1,108
その他	5
営業外収益合計	2,842
営業外費用	
株式交付費	9,379
株式公開費用	27,183
営業外費用合計	36,563
経常利益	298,242
税引前四半期純利益	298,242
法人税、住民税及び事業税	99,006
法人税等調整額	△3,247
法人税等合計	95,758
四半期純利益	202,483

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	298,242
減価償却費	14,867
受取利息及び受取配当金	△1,729
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,914
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△50,910
仕入債務の増減額 (△は減少)	82,420
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△504
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,708
株式交付費	9,379
株式公開費用	27,183
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,354
その他	22,196
小計	281,587
利息及び配当金の受取額	1,729
法人税等の支払額	△91,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,609
投資有価証券の取得による支出	△201,832
無形固定資産の取得による支出	△39,408
その他	△551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	540,780
株式公開費用の支出	△27,183
配当金の支払額	△68,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	444,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	391,490
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,123,156

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月25日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) に上場し、上場にあたり、2020年12月24日を払込期日とする公募増資による新株式200,000株の発行により、資本金が211,600千円、資本準備金が211,600千円増加しております。

また、2021年1月25日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式60,000株の発行により、資本金が63,480千円、資本準備金が63,480千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が343,080千円、資本準備金が297,480千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、歯科医院向けシステム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。